

ニュージーランドは新型コロナウイルス感染症の対策に成功したと言われている。なぜ、NZ は成功したのかを探るため NZ 出身の Alexander Bennett 教授(Professor at the Division of International Affairs at Kansai University)に教えて頂くためインタビューしました。なお、回答と記事は Alexander Bennett 教授によるものです。

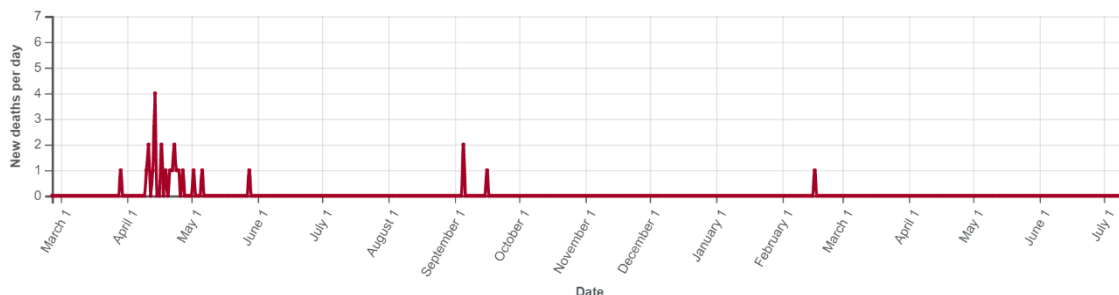
Q:なぜ NZ は Covid-19 感染を減らすことができたのか？ NZ 政府の対策と国民の支持について？

A:ニュージーランドは、Covid-19 パンデミックへの対応が成功したことで国際的に賞賛されている。最近のいくつかの世論調査は、ニュージーランド人が自国の対応を誇りに思っており、致命的なウイルスの蔓延を緩和するために取られた政府の措置を大部分非常に師事していることを示唆している。

これは、最近の選挙でのジャシンダ・アダーン主導の労働党政権の説得力のある勝利で明らかになった。

それは、ニュージーランドがパンデミックに苦しんでいないということではない。世界の孤立した地域にある島国のニュージーランド経済は、他の国との接触に依存しており、毎年訪れる何百万人もの観光客から数十億ドルを必要としている。それにも拘わらず、感染症と死亡者の観点から、ニュージーランドは独自の国に属している。この記事を書いている時点で、パンデミックが世界を閉鎖したため、合計 26 人がニュージーランドの Covid-19 で亡くなりました。

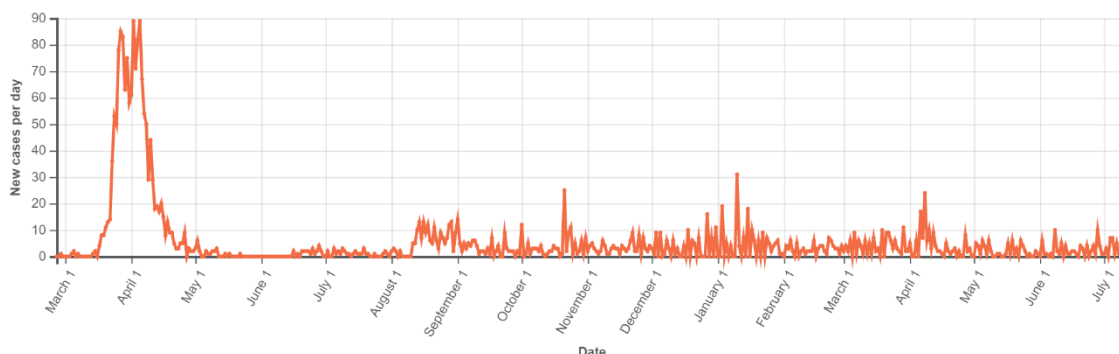
●New Deaths per day



Q:検疫の状況は？

A:現在の所、ニュージーランドとオーストラリアは最近、両国間で検疫無しで行き来することを保証するトラベルバブルを開いた。これは、両国のキャッシュフローを刺激し、Covid 以前の正常な状態に物事を戻すための最初のステップと考えられている。同時に、ニュージーランドの国境は、伝染性の高いデルタ株が蔓延しているインドへは閉じられたままであり、市民以外はまだ簡単にインドに入ることは出来ない。市民、永住者、及びニュージーランドの国境を通過することを許可されている少数の人々は、政府が運営する施設で2週間の強制検疫を受ける必要がある。検疫施設は、セキュリティ対策を強化するためにニュージーランド軍によって監視されている。国境で感染が見つかったというニュースが毎日ありますが、これまでの所、厳格な検疫プロトコルにより、ウイルスがコミュニティに広がるのを防いでいる。

●New cases per day



Q;市民生活は？

A;しかしながら、ニュージーランド国内では、静かな空港と観光客、外国人労働者、留学生の不足を除けば、生活は全く通常通り続いている。学校、パブ、レストランはいつものように営業しており、ニュージーランドが最近、何千人ものサポーターでスタジアムを埋め尽くした激しいスーパーラグビー大会をやり終えたため、世界の羨望の的になりました。

Q;他の国と比較してどのように上手くいったのか？

A;もちろん、国の隔離は重要な役割を果たした。人口が約500万人と比較的に少ないことも同様です。

また、間違いなく大きな幸運もあります。これらの要因は、政府の迅速な対応と「*Go hard, go early*」という戦略に基づく確固たるリーダーシップと組み合わせられている。

Q;ジャシンダ・アダーン首相のリーダーシップについて？

A;2019年3月15日、ジャシンダ・アダーン首相は、クライストチャーチモスクの射撃の惨事にどのように対処したかについて、国際的にかなりの賞賛を得ました。彼女は、犠牲者とイスラム教徒コミュニティの苦境に真の共感を示すことができ、国の現代史で最も困難な時期のひとつで国をまとめることができました。ほぼ正確に1年後の2020年3月22日、彼女のリーダーシップは再び苦難の試練に直面することになった。彼女は、コミュニティでCovid-19感染があったことを発表した。2020年2月28日、ニュージーランドはCovid感染を確認した。最近イランから帰国した60代の女性が2月26日に診断された。

先見の明、適切な計画、およびニュージーランドの疫学専門家のアドバイスに進んで従い、ニュージーランドは3月24日に「レベル4の封鎖」に入ることを決めた。スーパーマーケット、病院、そして「必要不可欠なサービス」などの事業を除いて、全てが閉鎖された。ニュージーランドの早期封鎖の目的は、伝染の連鎖を断ち切ることであった。3月21日、政府は「4層の警報レベルシステム」を導入した。これにより、国民経済は3月25日から完全に封鎖された。封鎖は思い切った措置であったが、政府の撲滅戦略にチャンスを与えるために必要であった。4月28日、5月11日、5月25日、6月8日には、コミュニティクラスターが消滅したため、移動と経済活動の制限が徐々に解除された。6月にレベル1の制限が解除されたが、ウイルスが再び根付くのを防ぐために国境の制限が厳格に施行された。

● a four-tier alert system

- ・レベル4：持続的且つ集中的なコミュニティ感染が発生している。また、広範囲に亘る発生。
- ・レベル3：コミュニティ感染の複数のケースが発生している。複数の地域にある複数のアクティブなクラスター。
- ・レベル2：限られたコミュニティ感染が発生している可能性。複数の地域のアクティブなクラスター。
- ・レベル1：Covid-19が海外では抑制されていない。散発的にインポートされたケース。ニュージーランドでは孤立したローカル感染が発生している可能性。

Q;ニュージーランドの感染再拡大の懸念

A;レベル4の封鎖により、ニュージーランド人は「バブル」の中で家にいるように指示され、必要不可欠な移動以外は家を出ることが禁止された。自宅に近い地域では、安全なレクリエーションは許可されていたが、旅行は厳しく制限されていた。全ての集会（葬式、結婚式、スポーツなど含む）はキャンセルされ、全ての公共の場は閉鎖された。重要なサービス（スーパーマーケット、薬局、診療所、ガソリンスタンドなど）とライフライン公益事業を除いて、事業は閉鎖された。教育施設も閉鎖された。

←
A; 個人や企業にとっても困難な時期でしたが、ニュージーランド人はほとんど文句を言わずに政府のアドバイスに従い、ジャシンダ・アダーンと国の保険局長であるアシュリー・ブルームフィールドが率いる毎日の記者会見に熱心に耳を傾け理解しようとした。明確で簡潔なリスクコミュニケーションの観点から、ニュージーランド人の恐怖を和らげ、最新の情報を彼らに知らせ続けるためのこれらの記者会見の価値はどんなに強調してもしすぎることはない。

それにも拘わらず、働くことが出来ないことは、賃金労働者にとって深刻な懸念でした。ここでの政府の戦略は、収入を助成することによって企業や労働者に財政援助を支給することでした。「*Go hard, go early*」という反応は、一般的に大成功を収めているとみられているが、コミュニティ感染のスペクターは常に懸念を抱いています。最初の封鎖以来、オークランドは起源不明の小さなクラスターのためにレベル3の封鎖に3回入っています。それでも比較的言えば、これらは期間が短く、最長期間はわずか7日です。この成功の結果として、ニュージーランド人にいるマスクとトレーサーアプリの使用はかなり緩慢となりました。

ワクチンの国際的な展開に伴い、ニュージーランドの継続的な課題は、国境管理を制限し、国を国際的な旅行者に解放する時期です。地域のトラベルバブルの作成についてオーストラリア、クック諸島、フィジーとの継続的な交渉が行われていますが、オーストラリアとフィジーでのコミュニティ感染の最近の突然の増加は、これがいかに危ういかを示している。主に国際的な供給の制限のために、ニュージーランドでのワクチンの展開はこれまで遅れていた。このレポートを書いている時点で、これまでのところ、国の人口の10%だけがワクチン接種を受けている。優先国民、国境労働者、医療従事者及び親戚は現在接種を受けているが、残りの人口は今年の後半に予定されている。

●インタビューを終えて

ベネット教授の言葉からリーダーの資質は次のように考えました。

・言葉の力 ・説得力 ・実行力 ・共感力 ・誠実さ

そして総合的には、コミュニケーション能力が優れていることが根本的な資質だと思いました。

ジャシンダ・アダーン首相が国民に受け入れられている最大の要素は、いつも国民と同じ目線で取り組んでいることとコミュニケーション能力が素晴らしいのではと思われる。

国民は、国のリーダーが国民と一緒に戦っているのを見ている。それが単なるパフォーマンスかどうかすぐ見破る。

我が日本のリーダーはどうだろうか？

有難うございました。

永重 史郎（シロニャン）